

緑化だより

No.115 平成28年4月号



八重紅枝垂れ

- 季節の花(ウグイスカグラ)
- 野鳥の世界(ヒバリ)
- 昆虫の話(春の女神)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

4月は休園日なしです



ryokka 緑化センター

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

ウグイスカグラ

鶯の谷より 出づる声なくは 春來ることを 誰か知らまし 古今集
鳥がさえずり、小川の水も温るみ、なんとなく体がはずむ頃、早春の里山に入ると殺風景な林縁に小さな淡いピンクの花に出会うことがあります。これがウグイスカグラ(鶯神楽)です。

スイカズラ科の落葉低木で高さ1~2m、葉は対生、花卉の先が5つに開いた、とても清楚で愛らしいラッパのような小さな花が垂れ下がって咲きます。6月頃、長さ1cmほどの丸い果実が赤く熟し、かわいらしい小さな苞がついています。実は水分を多く含み甘くて食べられます。一年目の枝には托葉の変化した円形のものがありこの時期の森でよく目立ちます。

早春のこの時期は華道、茶道を極めている人は花材が少ないのでウグイスカグラが珍重されていますが、段々と里山から減少して行くのは残念です。

ウグイスカグラの名前の由来はよくわかりませんが、古名Ⅰ「ウグイスノキ」は“ウグイスが鳴く頃に咲く”に関係があります。また古名Ⅱ「ウグイスガクレ」は“鶯隠れる木”が転じた説もあります。この木は日本固有種で江戸時代に貝原益軒による古い書物「大和本草」には名が現れています。「ウグイスノ始テ啼時ニ此花モサク故ニ名ツケシニヤ」とあります。貝原益軒は鶯が初めて鳴く頃にこの花が咲くからであろうと疑問を残して説明しています。(上村)



ウグイスカグラの花



托葉の変化したもの



ウグイスカグラの実

野鳥の世界

ヒバリ(雲雀)

節分が過ぎ立春の頃になると日差しは一段と明るくなります。枯野の風景の中にも温もりを感じ、気持ちも明るくなります。広い河川敷や田畑の広がる地方では、大空からヒバリのさえずりが響いてきます。

“永き日も 囀り足らぬ ひばり哉” 松尾芭蕉

ヒバリのさえずりは長く、いつまで鳴き続けるのやら…と心配になるほどですが、日の長くなる春、日がな一日鳴き続けるヒバリは田園の風物詩のひとつです。

昔、お天道様に貸したお金を返してもらえないひばりは利子を要求して“日一分 日一分”と繰り返しているとも言われています。又、天気の良い日に繰り返

すさえずりが“日晴(ヒハル)”と聞こえるところからヒバリの和名の由来になったとも言われています。

広い耕地や草原で巣造り、子育てをするヒバリの好む田園地域が減少し、今ではゴルフ場やスキー場のようなところでも繁殖しています。明るい日差しと花とひばりは春のセットです。さえずりが聞かれなくならないよう環境を大事にしたいものです。(吉見)



ヒバリ

昆虫の話

春の女神

早春一番の美しい花というと、皆さんは「カタクリ」の花を思い浮かべるかもしれませんが。濃い桃色のかわいらしい花が明るい林床を埋め尽くす姿は、まさに春の訪れを告げる女神や妖精のように思えることでしょう。

昆虫の世界にも春の女神・春の妖精と呼ばれているものがあります。それは「ギフチョウ」です。黒と黄色の縞模様、赤や青のスポットがとても美しい蝶です。明治時代に、岐阜で採集された標本をもとに新種として発表されたことが和名の由来です。岐阜だけでなく西日本に広く分布しています。年に一度だけ、カタクリの花が咲くころに現れ、その花が終わる頃にはいなくなってしまう。

ギフチョウはアゲハチョウのなかまです。年に一度しか出現しないこと、交尾後には次の交尾を防ぐ交尾栓を作ることなど、古い時代のアゲハチョウの特徴を多く残しています。卵は真珠色で、食草であるカンアオイの仲間に十数個ずつまとめて産み付けられます。黒くて毛虫のような幼虫はカンアオイの葉をモリモリ食べて大きくなり、初夏には地面と落ち葉の間で小石のような形の蛹になります。蛹のまま夏、秋、冬を越し、春にまた美しい成虫が現れ、カタクリやサクラなど春の花々を訪れ吸蜜します。

今、この春の女神は数が減っています。その原因は、里山の雑木林が手入れ不足のため林床に藪が広がり、開けた林床を好むカンアオイが生育できなくなったためです。さらに里山自体が宅地開発等により消失してしまうこともあります。成虫の蜜源であるカタクリも同じ理由で減少しています。ギフチョウが飛び、カタクリの咲く美しい里山を復活させたいものです。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



ギフチョウ



ギフチョウの卵

研修会のご案内

- 4月 7日(木)『4月の自然探勝』
春 なんの花が咲いてるだろう

10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：環境省希少野生動植物
種保存推進員
吉野 由紀夫

- 4月 17日(日)『八重桜めぐり』
遅咲きの八重桜を見て歩きます

10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔

- 4月 24日(日)『山菜教室』
山菜とその料理方法について学び、試食します
※ 要予約(先着30名)・無料

10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
長井 稔
横田 登美子

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ガラスケース展示)

・趣味の手作り作品展

～4月30日(土)

(ボード展示)

・私の好きな緑化センター写真展

～4月28日(木)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

広島県緑化センター

～春のおでかけキャンペーン～

～5月15日(日)

広島県緑化センター&広島市森林公園、
両園でスタンプを集めて景品ゲット！

さくら祭り ～4月24日(日)

期間中、さくらクイズラリーや早咲きから遅咲きの
さくら約50種類が楽しめます。

さくら祭りお楽しみイベント (レストハウス前)

4月 3日(日) 10:00～15:00

さくらクイズラリー、ネイチャーゲーム、木登り体験、
コンサート、さくら餅販売などイベントが盛りだくさん

みどりの集い (多目的広場)

4月29日(金・祝) 10:00～15:00

コンサート、木登り体験、ノルディック・ウォーク
カブトムシ幼虫さがし、折紙ヒコーキ飛ばしなど



趣味の手作り作品展より“きつねの嫁入り”



私の好きな緑化センター写真展